

(様式)

令和3年 3月 2日

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立奥富小学校
校長 佐藤 潤

令和2年度 狭山市立奥富小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	○「自分にはよいところがありますか」→「ある」98%。 制限のある生活の中で、児童の良さを引き出し自信をもたせるための活動に励んできた。	・重点目標が明確である。 ・校長の行事の実施の判断等がいつも的確に行われている。 ・行事が一つでも多くできるとよい。 ・コロナ禍での安全対策、感染防止対策にとても気を使っていた(飛沫防止シールド等)。子供たちもよくルールを守っている。 ・生活に制限がある中で、先生方にも負担を強いる中、子供たちもよくがんばっている。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・衛生面に特に気づけた一年であった。教職員の協力のもと毎日の消毒、児童用機の飛沫防止シールド、校庭の手洗い場増設など、感染防止に努めている。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・毎月の安全点検をはじめ、日々、気になるところの修繕に努めている。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	○児童へのアンケート「勉強することが楽しい・好き」→「そう思う」97.5%	・対面で授業を受けられるありがたみを感じた1年であった。 ・子供も学校は楽しく勉強も分かりやすいと通学できて安心している。 ・少人数制の学習はよいが、もう少し一人一人と向き合ってほしいところもある。 ・来年度導入されるタブレット学習がどのように活用されていくのか楽しみである。 ・授業の遅れが心配であったが、色々工夫していただきよかった。家庭学習はおろそかになりがちである。 ・コロナの影響もあり詰め込み型、画一型の宿題が多いように感じる。子供の習熟度別に対応してもらえると、もっとよい。できる子とできない子の差が出ている。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	三密を避けた新しい授業が要求され、また、GIGAスクール化に向けて一層のICT活用が推し進められた一年であったが、教員たちの意欲的な取り組みの成果が見られた。	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A		
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	・英語、英語活動については、担任主導の授業展開の形も徐々にできつつある。	
	10	児童は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	B	・校外でも「あいさつがいい」「声が小さい」など相反する意見をいただく。自主的、習慣的に気持ちのいいあいさつができるように校内のあいさつから指導を続けていく。	・毎日、元気に楽しく登校している。 ・あいさつを元気に自分からしてくれる子とそうでない子がいる。子供たちみんなが元気にあいさつしてくれるとうれしい、とても気持ちがいい。 ・大きな声を出すこともためらわれる中なので、目を合わせてのあいさつも大切になってくるのではないかと。 ・コロナの感染防止のため、様々な配慮をさせていただいていた。しかし、途中からなかなかあなあになり、学校のスタンスが分かりづらくなった。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B	・丁寧な言葉遣いを根気よく指導していく。	
	13	児童は、時間を守って生活している。	A		
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A		
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	・安心安全に活動できるように、朝や休み時間の校庭使用を学年で割り振り、運動の機会を設けた。	・限られた中で、考えよくやっている。 ・行事の対応(運動会等)はあくまでも学校の実情に応じて学校長が判断するものとする。 ・朝マラソンがなくなったり、休み時間の外での遊びに制限があったりと子供の体力低下が心配である。ストレスがたまっているようにも思える。もう少し外遊びの時間を増やしてはどうか。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	・毎日の健康観察を行い、児童の健康管理に努めている。	
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	また児童自身にも体調に注意するよう指導している。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	・感染症拡大予防に関することをはじめ、行事の中止等予定変更は緊急メールも活用し、迅速な情報提供に努めた。	・コロナ禍でも何とか保護者との交流をどうとする姿勢が感じられた。地域との交流が少なかったのはやむを得ない。 ・触れ合う機会が少なくて残念。早く子供たちの様子が見られることを願っている。触れ合う機会を今後も続けてほしい。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	C	・来校者やボランティア活動を制限した一年となった。協力者を招く場合には、その活動方法について連携を図った。	